（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	たいむクラブ小倉南　単位2

公表日　令和　7　年　3　月　31　日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		死角のない空間作りや落ち着いて活動ができるようにパーテーションを活用しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		人員配置基準に基づき、適切な人員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		玄関やトイレ等バリアフリー化しており、車椅子が利用できるようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		館内消毒や清掃を徹底し、利用の際には清潔な空間が提供できるよう常に心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	○		クールダウンできるスペースを設けており、状況に応じて使用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		PDCAサイクルを心掛けて活動前後で職員ミーティングを行い、情報共有しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者向け評価表を活用し保護者の意向や把握に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		面談やアンケートを実施し、職員の意見・要望を業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、必要に応じて実施を検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		社内研修の実施や社外研修に積極的に参加し、個人のスキルアップ、質を高め合っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	○		5つの領域における活動を組み合わせ子供たちが楽しみながら取り組めるプログラムを作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者との面談の話し合いで課題を一緒に決めています。また相談支援との連携を取り、必要なニーズを把握し計画書を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援計画を作成する際、会議を行い、支援に関わる職員の意見も盛り込み計画書を作成しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿った支援に取り組んでいます。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		アセスメントツールを使用し、個々の適応行動を把握しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		子どもの特性を考慮し、その子に必要な支援、療育ができるような支援内容を設定するように努めています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		毎月、支援プログラムMTGを行って、日々の活動内容の立案を話し合っています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月、プログラム内容を見直し、季節にあった工作やイベント、特性に合わせたプログラムを作成しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別指導や集団指導を組み合わせ利用者個々の状況を考慮し、計画書を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		前日の打ち合わせに加え、目視で把握、確認できるように当日タイムスケジュールを活用しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りでは些細な点でも職員間で情報を共有し、次の支援へ繋げています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎日、支援経過記録を記載しており、職員間で振り返りを行い、支援の改善に繋げています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		年に2回のモニタリングを実施し、見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者と日頃支援に携わっている職員が必ず出席をするようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援を含め、支援内容の情報共有に努め、連携を図っています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援を含め、支援内容の情報共有に努め、連携を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		相談支援を含め、支援内容の情報共有に努め、連携を図っています。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		○		今後は児童発達支援センターによる研修等に積極的に参加し、指導や助言等を受ける機会を設けていきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		一緒に活動する機会をもっと増やしていけるように検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		連絡帳アプリや送迎時の受け渡しの時間を活用し、情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		必要な保護者に対して、保護者に寄り添った支援を提供しています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご契約の際にご理解いただけるように丁寧な説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	○		支援計画の作成にあたっては、面談の機会を設け家庭での様子や支援に対する要望など丁寧にお聞きしています。また、子どもの発達状況や興味関心についても保護者と共有したうえで計画に反映しています。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		計画書の紙面を示しながら保護者が理解できるように説明し同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		いつでもご相談いただけるよう体制を整えています。また、状況に応じて家庭訪問を行い支援をしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		現在、父母会の開催等はありませんが、今後は保護者の意向を伺ったうえで、検討していきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者の声に耳を傾け迅速に対応できるように努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		活動概要や行事予定は、毎月の活動予定表へ記載し発信しています。また、会報はアプリケーションを用いて掲載しています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		施錠付き書庫へ保管し、且つ不在の時は事務所の扉も施錠し徹底しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		伝達方法を工夫したり、意思疎通ができるまで寄り添った配慮を実施しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域住民の方や保護者を招待するバザーを開催しています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し定期的に研修を行っています。緊急時にも迅速に対応できるように訓練も実施しています。	保護者への周知が十分でない為、HPやSNS等を活用し周知していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、非常災害に備え、年4回避難訓練を実施しています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者より情報を確認し把握するようにしています。また、変更がある場合は都度お知らせいただくようお伝えしています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者との情報共有を基に対応を行っています。 （昼食、おやつはアレルギー対応を実施）	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		毎月安全計画会議を行い、必要な訓練や措置を話し合い実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	○			安全計画に関する取り組み内容をその都度報告はしているが、周知が十分でないため、連携も含め検討していきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットのみだけでなく、全ての報告書を全事業所で共有し、事故や怪我等を未然に防ぐ努力をしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		市が開催している虐待防止研修へ参加し、社内研修にて共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束をするようなケースが発生した際は、保護者の方へ説明を行ったうえで同意をいただき、個別支援計画書へ記載するようにしています。	